

# 議会報 ならは

令和2年  
第188号  
6月5日発行

■ 令和2年3月定例会 会期 3/9~11



気を抜かず、マスク姿で通園再開。

- 令和2年3月定例会……………2～5ページ
- 町政を問う！【いっぱん質問】……………6～8ページ
- 委員会のうごき……………9～11ページ
- 議会の足跡・新人議員紹介……………12ページ

# 令和2年度3月定例会 令和2年度当初予算を含む、29案件を議決！

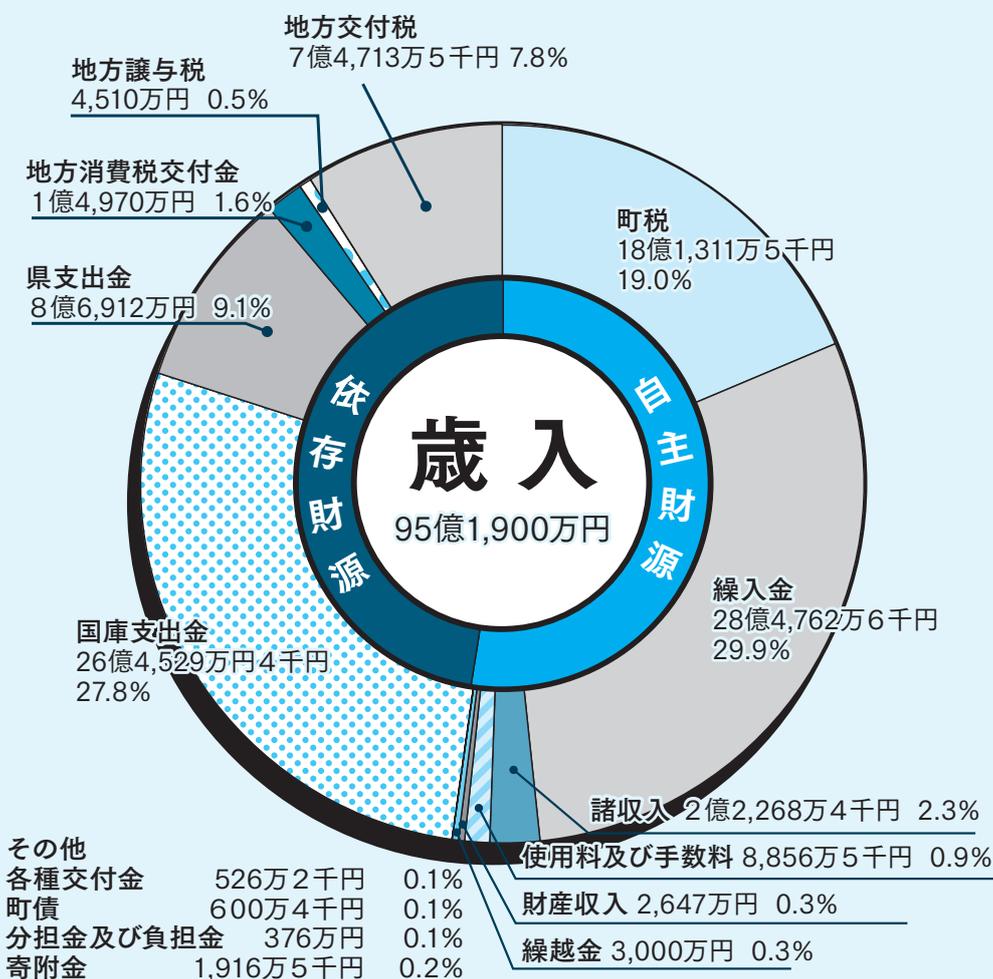
令和2年第3回3月定例会は、3月9日から11日までの3日間の会期で行われ、町から提案のあった条例制定3件、条例改正7件、補正予算6件、令和2年度予算6件、議決の必要な契約関係など7件が審議され、原案どおり可決されました。

令和2年度は国の定める復興創生期の最終年度となり、当町の復興の総仕上げとなる年です。

議会としても、町と一丸となり復興の総仕上げを進めて参ります。

町では、令和2年度も継続して、「農業」・「教育」・「健康」を柱とした、一般会計予算を議会へ提出。継続して、安心して魅力ある町づくりが行われるように、議論を行いました。

## 当初予算



### 主な事業

営農再開支援事業	3億5,953万8千円
ほ場整備事業	2億9,512万8千円
ICT教育事業	2,004万7千円
復興記念感謝祭事業	1,000万円
木屋・小六郎線自由通路整備事業	2億3,600万円

# 令和2年度特別会計予算

## 国民健康保険特別会計

13億4,606万9千円  
 (前年度: 8,105万9千円 (5.7%) の減)

## 下水道事業特別会計

4億8,510万8千円  
 (前年度: 3,811万3千円 (7.3%) の減)

## 住宅用地造成事業特別会計

98万6千円  
 (前年度: 4千円 (0.4%) の減)

## 介護保険特別会計

9億9,204万3千円  
 (前年度: 2,524万4千円 (2.6%) の増)

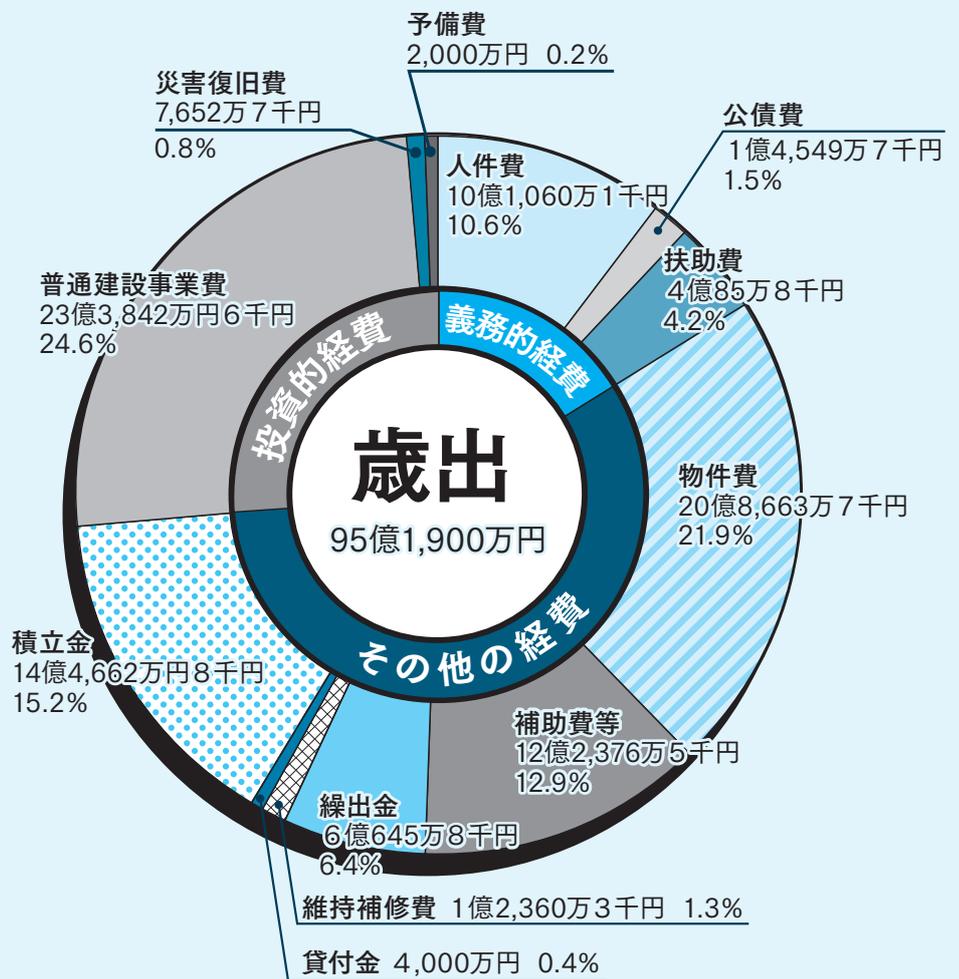
## 後期高齢者医療特別会計

3,269万1千円  
 (前年度: 95万4千円 (3.0%) の増)

3月定例会



# 令和2年度



予算執行により、様々な事業が行われます。

## 条例の制定・改正

### 国民健康保険税等減免条例の制定

●東日本大震災被災者の経済的負担の軽減を図る減免措置期間延長のための条例。

◆可決【全員賛成】

### 電気給電条例の制定

●笑みふるタウン内に整備した再生可能エネルギー施設を施設内で使用するための条例。

◆可決【全員賛成】

### スマートコミュニティ運営基金条例の制定

●笑みふるタウンで実施するスマートコミュニティ運営基金設置のための条例。

◆可決【全員賛成】

### 行政区設置条例等の改正

●地方公務員法改正による、行政区長等に関連した条項の改正。

◆可決【全員賛成】

### 議員報酬、期末手当の条例の改正

●議会議員の期末手当の算定基礎額割合を変更するための改正。

◆可決【全員賛成】

### 町長等給与及び旅費条例の改正

●町長等の期末手当の算定基礎割合を変更するための改正。

◆可決【全員賛成】

### 職員給与の条例の改正

●職員の通勤手当等に関する規定を改正。

◆可決【全員賛成】

### 会計年度任用職員給与等の条例の改正

●会計年度任用職員の給与・費用弁償の条例を制定するための改正。

◆可決【全員賛成】

### 印鑑登録及び証明に関する条例の改正

●成年被後見人等の権利制限適正化を図るための改正。

◆可決【全員賛成】

### 道路占用料徴収条例の改正

●地価に対する賃料水準動向を踏まえた道路占用料見直しのための改正。

◆可決【全員賛成】

## 補正予算

### 一般会計（8号）

《補正額》 2億2,100万円減額  
《予算総額》 154億9,500万円

◆可決【全員賛成】

### 国民健康保険特別会計（第3号）

《補正額》 1億2,977万2千円減額  
《予算総額》 13億8,527万4千円

◆可決【全員賛成】

### 下水道事業特別会計（第3号）

《補正額》 3,385万1千円増額  
《予算総額》 5億7,303万2千円

◆可決【全員賛成】

### 住宅用地造成事業特別会計（第3号）

《補正額》 2,958万4千円増額  
《予算総額》 2億969万7千円

◆可決【全員賛成】

### 介護保険特別会計（第4号）

《補正額》 6,837万7千円減額  
《予算総額》 10億3,899万3千円

◆可決【全員賛成】

### 後期高齢者医療特別会計（第3号）

《補正額》 58万6千円減額  
《予算総額》 3,233万8千円

◆可決【全員賛成】

## 工事請負契約変更

林業専用道七曲巻返線  
開設工事

- 契約相手  
株式会社五大
- 変更前  
6,545万円
- 変更後  
7,318万8,500円

道の駅ならは物産館  
災害復旧工事

- 契約相手  
合資会社諸橋建設工業
- 変更前  
1億230万円
- 変更後  
9,731万400円

町道狐久保線道路  
改築工事

- 契約相手  
草野建設株式会社
- 変更前  
1億1,945万7,100円
- 変更後  
1億1,614万2,410円

## 備品購入契約

道の駅ならは物産館  
厨房備品購入事業

- 契約相手  
ホシザキ東北株式会社  
いわき営業所
- 契約額  
2,893万円

道の駅ならは物産館  
什器等備品購入事業

- 契約相手  
株式会社 国分
- 契約額  
2,713万7,000円

道の駅ならは物産館  
POSレジ備品購入事業

- 契約相手  
東芝テックソリューション  
サービス株式会社 東北支店
- 契約額  
1,210万円



道の駅ならは



◆竜田駅周辺開発について

問 竜田駅東側開発の目玉であった宿泊施設は、基礎工事の段階で頓挫し、工事現場の事務所や工事柵が残され、景観を損ねている。

一方、竜田駅西側は、家屋の取り壊しも多く、駅の賑わいも薄れている。

宿泊施設が頓挫した理由は何なのか。またどのような企業だったのか。

答(町長) 工事を発注した㈱ファーストスプリングからは、建築工事を受注したJV会社と下請業者を含めた業者間のトラブルにより、工事資金に不足が生じたと聞いている。

問 倒産したことによって、町を含めてどのような影響が出ているのか。

答(新産業創造室長) 周辺では需要が見込めず、営業を中止している事業者もいる。工事関係者へは未払いもあると聞

いている。

また、現場ではゲートが倒れるなど悲惨な状況であり、好ましくない。

問 それらの対策を、町ではどのように考えているのか。

答(新産業創造室長) 町が経費を負担して修復することは考えていない。さらに確実な安全対策を求めていく。

問 事業用地として計画した造成地の現状と今後の進出企業の見込みは。

答(町長) 9区画を造成し、現在4区画に事業者が進出。残り5区画のうち1区画は協議中。残りも誘致を進めている。

問 竜田駅西側の整備予定は。

答(町長) 環境整備を目的に、「竜田駅西側復興まちづくり計画」を策定。設計後、工事発注し、西側は、駐車場や駅前ロータリーなどを整備する予定。

問 竜田駅の古い駅舎は今後どのようにするの。

答(建設課長) 旧駅舎はJRの財産である。新駅舎供用開始後取り壊す計画である。

問 歴史を知る大切な施設だが、取り壊す前に利用状況を見ながら次の対応を考

えてみてはどうか。

答(建設課長) 竜田駅の看板などを駅前広場の中を含める形で整備する計画。

要望 看板だけの単品ではなく、鉄道博物館のように活用できるような方向性を探ってほしい。

◆ならはときわ苑とリリー園について

問 老健施設ならはときわ苑は現在いわき市で再開している。ならはときわ苑の現状は。

答(町長) 平成25年3月にいわき市内郷で認可され、運営をしている。定員は100床で、現在の入所者は、檜葉町民が36人、いわき市民十数人。残り五十数人が双葉郡内の利用者。

問 檜葉ときわ苑再開の見通しは。

答(町長) 現在入居している利用者が退去せざるを得なくなるなどの理由から、町内の再開はすぐにはできないとの回答を受けている。

要望 再開に向けて、積極的なときわ苑との交渉を要望する。

問 リリー園の満床受入に向けて、どのような取り組みをしていくのか。

答(町長) 介護職員などを確保するため、県の就労準備金等の奨学金貸付制度の周知や、求人案内の広報紙への掲載等を引き続き行っていく。

問 リリー園の現在の状況は？

答(住民福祉課長) 現在は42人が入所(檜葉町37人)。

震災前の入所者は80人で、55人の職員が働いていた。現在の職員数は34人である。

問 満床にならないと、経営が非常に厳しく、29年度は約1億2千万円の赤字。平成30年度で4,400万円の赤字となっており、東京電力からの賠償も数年で無くなると聞いている。今後、檜葉町と広野町からの支援はあるのか。

答(住民福祉課長) 無くすことのできない施設と考えており、何らかの方策を講じていく。



特別養護老人ホーム リリー園



◆竜田駅東口開発について

**問** 破綻した株式会社ファーストスプリングはどのような会社で、ホテル経営の実績、経営面など、事前調査はどのように行ったのか。

**答（町長）** 神奈川県箱根町にある老舗温泉旅館「一の湯」を経営する株式会社一の湯の代表が個人的に出資して設立した会社である。ホテル運営の実績や経営面について、7店舗もの旅館やビジネスホテルを有しており、その実績を踏まえ、その代表が設立した株式会社ファーストスプリングにおいても当然ながらノウハウが生かされたものであると考え誘致した。

**問** 破綻の結果、町に生じた損害に対して当町は、損害の請求などをする予定はあるのか。

**答（新産業創造室長）** 債務不履行に対する損害賠償として賃料相当の損害金を請求するということを記載し、届け出をしているところです。

**問** 損害額は概算としていくらくらいとなるのか。

**答（新産業創造室長）** 概算で、約5億円と債権届出には記載しています。

**問** 破綻が発覚してから約1年半になる。この敷地は今後どのように活用するか、結論は出ているのか。

**答（町長）** ホテルを建築し、運営を希望している事業者と協議中である。



現在の竜田駅駅舎

◆竜田駅西口整備について

**問** 竜田駅西口整備について。町民ワークショップではどのような意見がでてくるのか。

**答（町長）** 平成29年度から上井出地区住民を中心にワークショップを開催しており、「いかにしてにぎわいを取り戻すか」という話題は特に活発な意見が出ている。

月1回程度のペースでミーティングや行政区と連携した催しが行われ、まちづくり便りを全戸配布し、周知を図っているところ。

**問** このワークショップには多方面にも声をかけて人選をすべきではないかと思うが、どのように考えているのか。

**答（建設課長）** 全町民にワークショップで出た内容の概要版を配布し、今後の方向性について意見を募った経緯がある。

**問** 大規模地権者との折衝、交渉はどのようになっているのか。

**答（町長）** 様々な意見を踏まえ、空き地や道路脇の土地を活用し、退避スペース・交差点部の隅切り、必要な道路拡幅などを計画。また、住民の集える小規模な公園整備などを計画している。

**問** 竜田駅周辺は整備計画において3つのゾーンに区分されている。整備するにあたり優先順位は決められているのか。

**答（町長）** 整備の優先度は、今年の夏に供用を開始する橋上駅及び自由通路の整備が順調に進められており、工事ヤード等を調整しつつ、駅前交流ゾーンの整備を最優先としている。その他のゾーンは、詳細設計に基づき地権者との交渉に着手している。

**問** 北小学校跡地の活用は町ではどのように考えているのか。

**答（町長）** 北小学校跡地利用への意見では、集客施設や専門学校、病院、住宅用地、子どもの遊び場等に活用してはどうかという意見が出され、売却せず貸し付けたほうが町の財産となるのではなどの意見もあった。

先ごろ、福島県からこの跡地に県立富岡支援学校を整備したいとの要望を受け、この要望を受け入れていく考えである。

いっぱん質問

町政を問う！

草野 公雄 議員



◆心のケア対策について

避難指示解除から4年半が過ぎ、町民の生活環境は一段と向上したが、復興住宅内で2件目の孤独死があった。町民一人ひとりの心のケアはどのようになっているのか。

**問** 孤独死の発見状況は。

**答** (住民福祉課長) 1件目。81歳。亡くなる前日に実娘に連絡を取り、翌日に実娘が住宅訪問により亡くなっているところを発見。死亡原因は急性心筋梗塞。2件目。77歳。玄関前に配達物の牛乳が溜まっており訪問。亡くなっているところを発見。死亡原因「不詳」。

**問** 2件目の復興住宅で亡くなった方は、発見まで2週間が経っていた。それまで誰も気が付かなかったのか。

**答** (住民福祉課長) 生活相談支援員が定期的に訪問していた経過があった。健康上気になるところがなく、頻繁な訪問はなかったため、気づくのが遅かったと報告あり。

**問** 死亡原因が「不詳」ということだが、冬季に多いヒートショックの可能性は。

**答** (住民福祉課長) 時期的に、ヒートショックの可能性も否定できない。

**問** 震災関連での県内自殺者は、令和元年12月で115人。当町の関連死は140名と津波などの直接死11人を上回っている。そんな中、心のケア対策の取り組みは。

**答** (住民福祉課長) 困りごとなどの相談を受ける生活支援相談員が当町には9名おり、住宅での訪問を実施している。住民との交流も深まり、一定程度の成果があると感じている。

**問** 孤独死を防ぐためには、住民同士の交流が欠かせないが仮設住宅同様、復興住宅内にも自治会の結成が必要では。

**答** (総務課長) 平成30年度に自治会設立に向けた説明会を開催したが、自治会中心となる人が現れず、設立には至らなかった。

**問** 私の知人もヒートショックで亡くなった。町としても注意喚起し、高齢者の孤独死を防ぐ努力をすべきでは。

**答** (住民福祉課長) ヒートショックが起る前の時期に生活支援相談員などを利用して、チラシを配るなどの広報に努める。

◆新型肺炎について

中国の武漢市で発生した、新型コロナウイルス感染による肺炎が世界中に広がり、日本でも死亡者が発生するなど、連日報道されている。オリンピック聖火リレーのスタート地点の当町は大丈夫かという心配の声が町民からあがっている。

**問** 新型肺炎の現状は。

**答** (町長) 令和元年12月に中国武漢市で新型コロナウイルス感染症に関連した肺炎発生が報告され、世界中で感染の報告がされ、日本でも感染者の報告があがっている。

**問** 町の取り組みは。

**答** (町長) 2月28日に感染症対策本部を設置。その後複数回会議を実施し、町立小中学校の休校を決定。また、各種公共施設は利用制限や休館などの措置を実施している。

**問** 県内初の感染者がいわき市で確認された。一番の心配はマスクが手に入らないこと。備蓄のマスクがあれば高齢者へ優先的に配布すべきでは。

**答** (住民福祉課長) マスクの備蓄は一定程度用意しているが、喫緊の状態ではないと判断し現状では配布の判断はしていないが今後検討していきたい。

**問** 安倍首相は全国の小中高校へ一斉の休校を要請した。町はどのように受け止めたのか。

**答** (教育総務課長) 3月4日から小中学校の臨時休校措置をし、生徒から保護者へ文書通知を行った。

**問** 聖火リレーは役場前からここなら笑店街までの沿道に3,000人を動員し、盛り上げの計画をしているが、規模縮小などの措置は。

**答** (復興推進課長) 状況が刻々と変化している。政府や聖火リレー実行委員会などから出る方針に従い当町のリレーも実施していく考え。

**要望** 新型コロナウイルス感染症がいつ終息するのか、先の見えない不安が町民から出ている。檜葉町からはコロナウイルスの感染者を出さないという覚悟をもってあらゆる対策をしていただきたい。

## 仮設焼却施設及び固形化処理施設の実態調査について

波倉地区では、環境省が東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した特定廃棄物を処理するため、仮設焼却施設及びセメント固形化処理施設を稼働させている。当委員会では仮設焼却施設及び固形化処理施設の実態調査として、環境省担当者より説明を受け、現地にて状況を確認した。

### 1 特定廃棄物セメント固形化処理施設

福島県内で発生する10万Bq/kg以下の特定廃棄物等の焼却灰を、特定廃棄物埋め立て処分施設（富岡町）に安全に埋め立て処分するため、セメント固形化処理を行う施設。  
○所在地：波倉地区

○処理予定数量…

83,000t

○施設規模…

最大120t／日程度

○進捗状況

・試験稼働…

平成31年1月17日から

・本格稼働…

平成31年3月20日から

・処理見込数量（令和2年3

月末まで）

前処理数量…12,188

t（進捗率…14.7%）

固形化数量…9,315袋

（36袋／日）

○固形化処理スケジュール

令和5年9月…

固形化処理終了

令和6年11月まで…

解体撤去、事後調査、

現状復旧

### 2 仮設焼却施設

可燃物の減容化処理が平成30年度で全て完了したため解体中。  
○所在地：波倉地区

○運営期間…平成28年10月24

日から平成31年3月3日

○処理量…77,886t

（内訳）災害廃棄物32,

288t

除染廃棄物45,598t

○灰発生量…16,102t

○解体工事…平成31年4月か

ら令和2年3月

※業務用地の全てを固形化処

理施設へ移管。



運転中の安全を管理する

### 3 まとめ

固形化処理施設の稼働及び仮設焼却施設の解体・撤去が順調に進展していることを確認した。また、施設内の安全対策や施設外部への放射性物質の漏出、飛散防止策なども法令等に基づき適正に運用されていた。

全ての処理が完了し、現状復旧するまでには、数年かかるため、今後波倉地区の復興の妨げとならないよう、安全性を最優先に、確実に迅速な処理を求めた。



担当者から説明を受ける委員会

台風19号の被災状況等について

檜葉町の気象警報等の発令状況

日付	時間	気象警報等の発令状況
10月12日 (土)	14:09	大雨警報発令
	15:30	土砂災害警戒情報発令
	15:48	洪水警報発令
	19:50	大雨特別警報発令
10月13日 (日)	4:00	大雨特別警報解除
	6:30	土砂災害警戒情報解除
	10:58	大雨警報解除
10月25日 (金)	15:34	洪水注意報発令
	16:39	大雨警報発令
	17:27	洪水警報発令
10月26日 (土)	17:36	土砂災害警戒情報発令
	7:00	土砂災害警戒情報解除
	7:17	大雨警報解除
	10:33	洪水警報解除

檜葉町の避難情報発令状況

日付	時間	気象警報等の発令状況
10月12日 (土)	13:45	避難準備・高齢者等 避難開始発令
	17:20	避難勧告発令
10月13日 (日)	7:40	避難勧告解除
	12:30	避難準備・高齢者等 避難解除
10月25日 (金)	16:00	避難準備・高齢者等 避難開始発令
	18:00	避難勧告発令
10月26日 (土)	8:20	避難勧告解除

1 台風19号に伴う町内対応状況

昨年発生した台風19号とその後の大雨により、福島県は記録的な雨量に見舞われ、各地で浸水や土砂崩れによる甚大な被害が発生した。町内においても、床下浸水をはじめ、土砂崩れや路面洗掘、堤防洗掘などの被害が発生しており、町内被災箇所毎の担当者から説明を受け、現地にて被災状況を確認した。

- 観測情報  
積算雨量…279.5mm  
最大瞬間風速…26.8m/s
- 避難状況  
避難所数…2か所  
最大受入…60世帯(115人)
- 主な被害状況  
住家被害…床下浸水 1件  
停電…乙次郎地区 2件
- 2 大雨警報(10月25日)に伴う町内対応状況  
○観測情報  
積算雨量…211.0mm  
最大瞬間風速…16.1m/s

- 避難状況  
避難所数…2か所  
最大受入れ…22世帯(41人)
- 主な被害状況  
なし
- 3 主な被災状況  
○建設課所管施設  
・道路…12路線(15箇所)  
・河川…3河川
- 福島県所管施設  
・道路…1路線  
・河川…6河川
- 産業振興課所轄施設  
・農地、農業用水利施設…3施設  
・林道…2路線

- 水産業施設…1施設
- 新産業創造室所管施設  
・木戸川遊歩道
- 教育総務課所管施設  
・総合グラウンド
- 4 まとめ  
早期の避難所開設等の対応により、人的被害がなかったことは大いに評価するものだった。  
今後の自然災害に備え、防災力を一層高める取り組みが必要であり、今回被災した箇所の復旧や、河川に堆積した土砂・流木等の撤去の早期実施を強く求めた。

福島第二原子力発電所廃止措置計画（案）について

東京電力ホールディングス(株)（以下「東京電力」）が、当町に立地している福島第二原子力発電所（以下「福島第二」）の全号機廃炉を正式決定し、昨年12月には、「廃炉の実施に係る周辺地域の安全確保に関する協定」（以下「廃炉協定」）を福島県及び立地町である楡葉町・富岡町と締結した。これを受けて、東京電力では、廃止措置計画を作成中である。

当委員会では、原子力発電所の安全に関する調査として、廃止措置計画（案）の概要について、東京電力に説明を求めた。

1 廃止措置の基本方針

- 周辺公衆及び業務従事者の放射線被ばくを可能な限り低減。
- 廃止措置期間中の保安活動及び品質保証に必要な事項は、保安規定に定めて実施。

- 廃止措置期間中に機能を維持すべき設備に影響を及ぼさないことを確認し、工事を実施。

2 廃止措置の進め方

- 福島第二（4基）の廃止措置期間見込…44年
- 廃止措置計画には、第1段階である「解体工事準備期間」に実施する具体的事項を記載する。第2段階以降には、改めて計画に反映する。

3 解体工事準備期間（第1段階）を行う具体的事項

- ① 汚染状況調査
- ② 汚染の除去
- ③ 放射線管理区域外（屋外）の設備解体撤去
- ④ 原子炉建屋内燃料貯蔵施設からの核燃料物質の取出し（使用済燃料の搬出含む）
- ⑤ 放射性廃棄物の処理・処分

4 廃止措置に関する費用

- 解体に要する総見積額…2823億円（令和元年8月末）
- ・ 全額、東京電力自己資金。

5 使用済燃料及び放射性廃棄物の扱い

- 使用済燃料…廃止措置終了までに再処理施設へ全量搬出し、再処理事業者へ譲り渡し。
- 放射性廃棄物…廃止措置終了までに原子炉等規制法の許可を受けた廃棄事業者の廃棄施設へ廃棄。

- 廃止措置終了要件…対象施設の解体撤去、核燃料物質の譲渡、核燃料物質による汚染の除去及び汚染された物の廃棄を終了し、廃止措置を終了。

6 廃止措置着手までの流れ

- ① 原子力規制委員会へ廃止措置計画許可申請書を提出

- ② 福島県、楡葉町及び富岡町へ廃止措置の実施に対する事前了解願を提出。
- ③ 計画の認可及び事前了解を得、廃止措置に着手。

7 まとめ

今回調査した福島第二の廃止措置計画（案）は、当議会が求めていた使用済燃料及び放射性廃棄物の全量搬出について、踏み込んだ内容となっており、一定の評価をする。しかし、搬出先等はいまだ決定しておらず、最終処分について国も含めた検討をし、早期に結論を出すよう要望をした。

また、長期間に及ぶ廃炉作業を安全かつ確実に実施するため、廃炉に携わる技術者の育成に継続的に取り組むよう要望した。

委員会の調べ

「町をよくするためには…」令和2年檜葉町子ども議会開催。

本年も、檜葉町子ども議会が開催されました。

この子ども議会が行われるのは震災後3回目。南北小学校の6年生15人が、「町をより良くするためにはどうしたらいいか」を自分たちで考え、質問を行いました。

自分が感じた町に対する問題点への質問をした生徒たちに、答弁者の町長も本番の議会と同様、真剣な回答を行っていました。

閉会后には、長谷川翔也さんが「檜葉の未来に真剣に向き合い、考えることができた。自分にもできることを実行していきます。」と力強く謝辞を述べ、全体を締めくくりました。



議会の足跡

2月～5月

日付	2月
6～7	国・東京電力への要望活動（東京都）
7	双葉地方町村会・議会議長会合同要望活動（東京都）
10	議会運営委員会（委員会室） 会津美里町議会との交流会（Jヴィレッジ）
14	双葉地方広域市町村圏組協議会総務常任委員会（富岡町） 第2回2月檜葉町議会臨時会（議場）
18	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会（固型化处理施設：波倉地内）
25	福島県町村議会議長会定期総会（福島市）
26	檜葉町子ども議会（議場）
27	双葉地方町村議会議員研修会（富岡町）
28	双葉地方広域市町村圏組協議会定例会（富岡町） 双葉地方土地開発公社理事会（富岡町）
日付	3月
3	議会運営委員会（委員会室）
5～6	議会合同委員会（議場）
9～11	第3回3月檜葉町議会定例会（議場）
11	檜葉町議会全員協議会（檜葉町スポーツ推進計画（案）について） 檜葉町東日本大震災津波犠牲者追悼式（檜葉町保健福祉会館）
13	檜葉中学校卒業証書授与式（檜葉中学校）
17	サケ稚魚放流（木戸川築場）
18	あおぞらこども園卒園式（あおぞらこども園）
23	檜葉南・北小学校卒業証書・修了証書授与式（檜葉南・北小学校）
24	第4回3月檜葉町議会臨時会（議場） 檜葉町議会全員協議会（ALPS（アルプス）小委員会報告書について）
日付	4月
4	あおぞらこども園入園式（あおぞらこども園）
6	檜葉南・北小学校・中学校入学式（檜葉南・北小学校、檜葉中学校）
22	議会運営委員会（委員会室）
24	第5回4月檜葉町議会臨時会（議場）
日付	5月
14	天神岬スポーツ公園を核とする交流人口拡大に関する調査特別委員会（委員会室）
15	双葉地方広域市町村圏組協議会総務常任委員会（富岡町）
18	天神岬スポーツ公園を核とする交流人口拡大に関する調査特別委員会（委員会室）
19	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会（ふるさと応援寄付金の実態調査）
21	東日本大震災及び原子力災害に関する特別委員会（森林再生事業の現状調査）
29	双葉地方広域市町村圏組協議会定例会（富岡町） 第1回双葉地方土地開発公社理事会（富岡町）

坂本 洋 議員



議席 1番  
行政区 大谷  
年齢 54歳  
(当選日現在)  
任期 令和2年4月12日～  
令和3年8月31日

新人議員の紹介

ひとこと

4月の補欠選挙で当選をした坂本洋です。

元気を全面に!! 元気ある活動から、町民の皆さまの生活向上を目指します! よろしくお願ひします。

令和2年6月定例会は、6月10日(水)から開会予定です。

開会日は変更となる場合があります。予めご了承ください。

○場所 檜葉町役場3階 議場

※新型コロナウイルス感染症予防の観点から、マスク着用の徹底及び入場前の検温をお願いしています。

係員から指示のあった際には、指示に従ってください。

なお、席には限りがあります。予めご了承ください。